

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株) クレアメディコ	代表者	岡本 恒夫	法人・事業所の特徴	「医療・介護の原点はやさしさ」 上質な医療・介護を提供し、信頼され、選ばれる「さわやか苑」を目指し、地域医療・介護に貢献します。
事業所名	多機能ケアセンター さわやか苑長岡藤沢	管理者	金山 義幸		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			・ご利用者様の生活環境を知る能力を身につける研修を行うことで更に魅力ある施設になると思う。	・事前訪問から担当スタッフを決めて初回利用から安心と信頼関係を構築。 ・スタッフ一人ひとりが1人のご利用者様について10個以上言えるようになる。
B. 事業所のしつらえ・環境			・これからも施設を大切にきれいに使用することでご利用者様のサービス、対応にもつながると思う。	・スタッフも環境の一つとして捉え笑顔での挨拶と手を止めて正対し挨拶を心掛ける。 ・照明を点灯し明るい雰囲気施設へ入り易い環境をつくる。
C. 事業所と地域のかかわり			・町内の利用者が少なく必然的に関わりも少なくなっているのでは？	・送迎時なども周辺への注視を心掛け異変への早期発見に協力。 ・子供たちへのあいさつを行い明るい街づくりと防犯に協力。 ・町内会活動への参加を通じて地域の困っている事や心配事への協力をしていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			・本人の暮らしを支える取組みをどのように連携を図っていますか	・自宅での生活を支えていくために、ご本人の生活圏内の社会資源を確認し利用できることやお願い出来る事は継続して行う。 ・主治医、各事業所と担当者会議、カンファレンスなどで連携を図り在宅生活が継続できるように支援していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み			・同じ事故がある中で取組みをされていると思いますが今後、運営推進会議でヒヤリ、事故の件数を報告してはどうでしょう	・ヒヤリハット、事故、苦情の報告を行い施設内の実状を報告した上で取組みについても報告していく。 ・運営推進会議に現場職員も参加し家族、地域の方々と関わりの場を設ける。
F. 事業所の防災・災害対策			・次回運営推進会議で防災計画を確認したいです。	・災害時の一時避難場所として施設を提供していく。 ・地域防災訓練に参加、苑でも地域住人の方からも参加頂き連携の強化を図る。